

平成 31 年 1 月 7 日

「教育システム改善のためのアンケート」の集計結果

資源循環システムコース教育システム改善委員会

藤井委員長

大竹委員

大友委員

1. はじめに

北海道大学工学部環境社会工学科資源循環システムコースでは、教育内容・方法等を継続的に改善していくことを目的として、2002年（平成14年）8月に教育システム改善委員会を設置した。本委員会は、学生・社会人を対象としたアンケートを通して、本コースの教育に対する学生・卒業生の評価・意見・要望等を受け付け、これを集計・分析してコース会議に報告することを活動の骨子としている。

ここでは、本コース学生を対象に平成30年10月に実施したアンケートの回答を集計した結果を、「別紙1」のとおり報告する。

2. アンケートの実施方法と書式

学部2年生、3年生および4年生を対象としたアンケートは、別紙1に示す書式（質問書と回答書）を用いて下記の要領で実施した。

アンケート実施要領

対 象	実施時期		備 考
2 年生	平成 30 年 10 月 2 日	授業にて	授業時に配布, 回収
3 年生	平成 30 年 10 月 2 日	授業にて	授業時に配布, 回収
4 年生	平成 30 年 10 月 2 日	各研究室	研究室ごとに配布, 回収

3. 集計・分析結果

別紙に各学年のアンケート集計結果を示す。以下では、教育システム改善委員会が行った分析結果を設問毎にまとめて示す。本年度の回答率は2年生が35名/36名（97.2%）、3年生

が17名/35名(48.6%)、4年生が30名/38名(78.9%)であった。例年と比べて、3年生の回答率が著しく低くなっている。

設問1-(2)では「進路希望」について問うており、進路の決定していた4年生を除き、2年生は69%、3年生は53%の学生が大学院進学希望している結果となった。例年と比べて、2,3年生ともに進学希望率が低くなっている。

設問2-(1)は、「すばらしかった科目」について問うており、件数の多い順から「地球科学」(16件)、「応用数学演習Ⅰ」(14件)、「流体力学」(9件)、「応用数学Ⅰ」(7件)、「弾性体の力学」(7件)、「現代物理学概論」(7件)という結果となった。個別のコメントとしては、「面白かった・説明がわかりやすかった」というものが多く、「熱意を感じた」「応用例を紹介してくれて勉強内容を考えることができた」「先生やTAが優しく丁寧に教えてくれた」などであった。

設問2-(2)は、「内容に問題のある科目」について問うたものである。件数の多い順から「基礎図形科学」(8件)、「情報エレクトロニクス概論」(8件)、「建設材料」(6件)、「生物工学概論」(4件)という結果となった。個別のコメントとしては、「難しすぎる」「範囲が広すぎる」「教授によって運営がばらばら」「レジュメがない」「声が聞こえない」などであった。

また、設問2-(3)は、「成績評価に問題がある科目」について問うたものであり、件数の多い科目として「情報エレクトロニクス概論」(4件)についての指摘があった。意見としては「テストの内容が難しすぎる」「不合格の理由がわからない」というものであった。

設問2-(2)および(3)において、複数の指摘があった科目の対策については別紙2にて提案する。

設問2-(4)は、カリキュラムに対する自由意見であるが、「すごく良いと思う」という回答が1件のみであった。

資源循環システムコース学生の皆様

資源循環システムコース コース長
川崎 了

教育システム改善のためのアンケート(平成30年度)

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する…これが大学の使命です。
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知らることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。回答は添付した回答用紙の該当個所に記入して教育システム改善委員会に提出してください。

1. あなた自身について

まず、あなた自身についてお聞かせください。

(1) あなたの学年・身分は？ 該当するものを選んで記号を○で囲んでください。

- A：学部2年 B：学部3年 C：学部4年 D：大学院生
E：社会人（技術系） F：社会人（非技術系） G：その他

(2) あなた（学部学生，大学院生）はどのような進路を考えていますか？

あなた（社会人）はどのようなお仕事に就かれていますか？

例えば、「大学院進学」、「環境関連の研究者」、「建設業界」などのように記入してください。

2. カリキュラムについて

3 ページの目のカリキュラム表を見て、下記(1)～(3)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、本年度前期(4～9月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、カリキュラム表内に記載されている番号です。又、(4)に関してはご自由に記述ください。

- (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的にやった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて(勉強したにもかかわらず)ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

科目番号 _____

科目番号 _____

- (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

【提出は担当の先生、またはコース秘書(A655)までお願いします】

<カリキュラム表>

質問(2年生)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
1 応用数学 I	2	必修	2・I	講義
2 応用数学演習 I	1	必修	2・I	演習
3 基礎図形科学	2	選択	2・I	講義
4 地球科学	2	必修	2・I	講義
5 弾性体の力学	2	必修	2・I	講義
6 熱力学	2	必修	2・I	講義
7 計測工学	2	必修	2・I	講義
8 建設材料	2	選択	2・I	講義
9 資源循環デザイン	1	必修	2・I	演習
10 生物工学概論	2	選択	2・I	講義
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・I	講義

質問(3年生)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
1 流体力学	2	必修	3・I	講義
2 土の力学 II	2	選択	3・I	講義
3 物理化学演習	1	必修	3・I	演習
4 建築都市学概論	2	選択	3・I	講義
5 資源循環システム実験II	1	必修	3・I	実験
6 粉体工学	2	必修	3・I	講義
7 インターンシップ	1	選択	3・I	実習
8 岩盤工学	2	必修	3・I	講義
9 環境化学	2	必修	3・I	講義
10 資源化学II	2	選択	3・I	講義
11 資源循環システムII	1	選択	3・I	演習

質問 (4 年生)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 廃棄物処理工学	2	選択	4・I	講義
2 気象学	2	選択	4・I	講義
3 機械工学概論	2	選択	4・I	講義
4 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義
5 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義
6 材料工学概論	2	選択	4・I	講義

教育システム改善のためのアンケート(平成30年度 秋)

実施日:平成30年10月2日

対象数	学部2年 36名	回答数	35名	回答率	97.2%
-----	----------	-----	-----	-----	-------

1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	24
就職	7
大学院進学または就職	2
その他	1
無回答	1

大学院進学の詳細	大学院進学(22名)
	大学院進学(環境科学院)
	道外の大学院に行きたい

就職の詳細	一般企業、公務員
	公務員
	国家公務員(一般)
	環境系公務員
	商社
	就職(2名)

大学院進学または就職の詳細	資源開発関連の職 or 大学院
	地方の町おこしなどを本気で取り組む仕事につきたい。それを叶えるために大学院に進むのが重要なら進むが必要じゃないなら進まない。

その他の詳細	金持ちになりたい
--------	----------

教育システム改善のためのアンケート(平成30年度 秋)

実施日:平成30年10月2日

対象数	学部3年 35名	回答数	17名	回答率	48.6%
-----	----------	-----	-----	-----	-------

1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	9
就職	6
研究者	1
進学か就職か悩んでいる	1

就職(6名)の詳細	就職(2名)
	エネルギー関連(2名)
	土木、エネルギー関連
	就職します。業界はどこでもいいです。

教育システム改善のためのアンケート(平成30年度 秋)

実施日：平成30年10月2日

対象数	学部4年 38名	回答数	30名	回答率	78.9%
-----	----------	-----	-----	-----	-------

1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	24
就職	5
深く考えていない	1

就職(4名)の詳細	就職(4名)
	鉄鉱業界